

**【新規】**

**早生広葉樹等の育苗及び  
植栽技術に係る実証試験  
(研究期間:H29~33)**

**林業試験場 森林管理研究室**

# 研究の背景・課題①

- 里山の放置による竹林拡大
- 耕作放棄地の増加
- マツ枯れ跡地

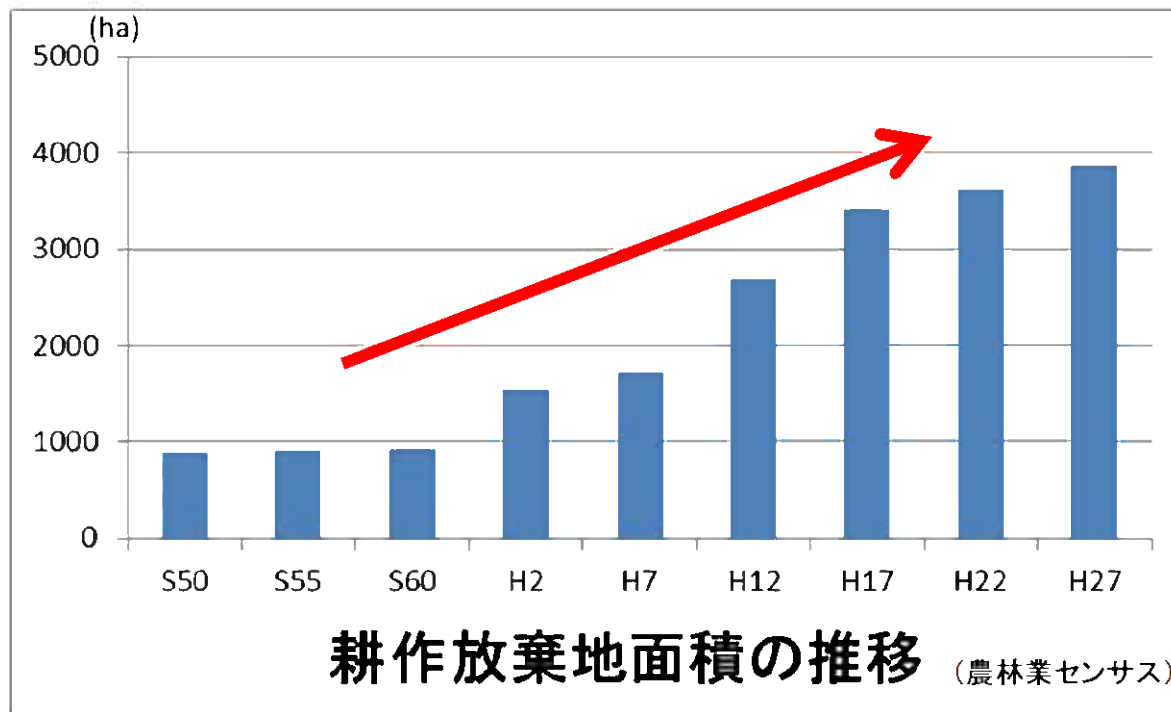


※中山間地域における土地利用の低下が進行

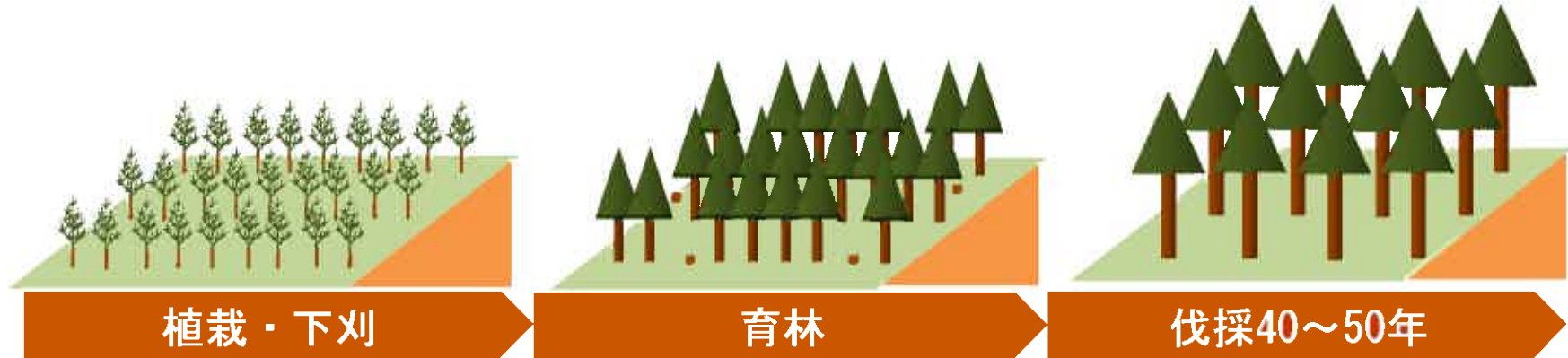
■ 中山間地域における土地利用の低下が進行  
集落・農地の獣害増加が社会問題化

■ バイオマス燃料確保、皆伐・再造林の動き

⇒ 早生樹に注目 (全国的に早生樹林業の動き)



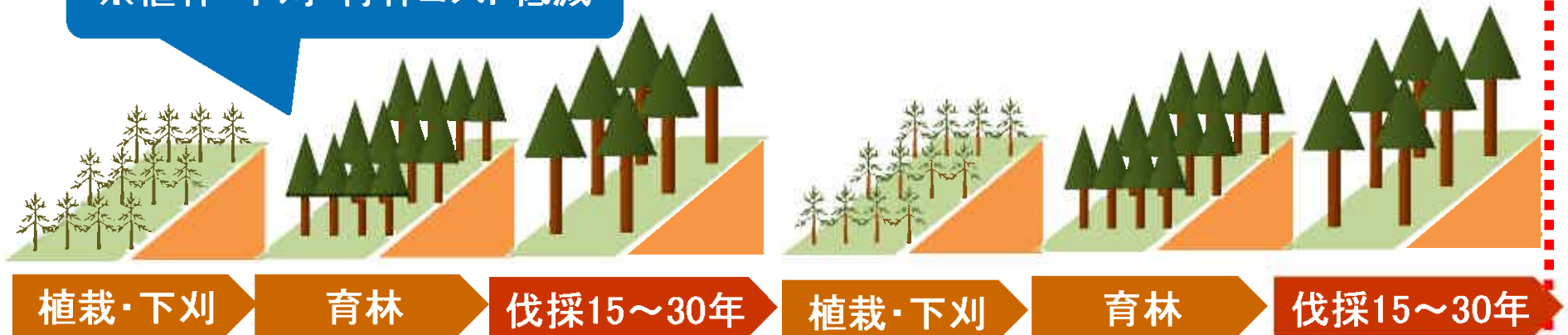
# ■ スギ・ヒノキ：植栽～収穫 40～50年程度 【従来】



# ■ 早生樹：植栽～収穫 15～30年程度

※従来約半分

※植林・下刈・育林コスト低減



※「早生樹を用いた短伐期林業の手引き」大分県農林水産研究指導センター林業研究部発行の図を改変

# 早生樹として有望な樹種

■ センダン

■ コウヨウザン

■ ユリノキ

■ チャンチンモドキ  
など

※成長が早い

※材の利用価値



# スギと早生樹の成長比較(35年生)

## スギ



樹 高 : 17 m  
胸高直径 : 27 cm

材積 0.5m<sup>3</sup>

## コウヨウザン



樹 高 : 24 m  
胸高直径 : 52 cm

材積 : 2.5m<sup>3</sup>

## ユリノキ



樹 高 : 23 m  
胸高直径 : 70 cm

材積 : 4.3m<sup>3</sup>

# 早生樹の主な用途

**【センダン】** センダン科センダン属 日本(暖地)、中国、台湾

- 内装材、化粧単板(ツキ板)  
家具、器具、下駄など (ケヤキ・キリの代替材)
- 木材チップ (製紙用・燃料用)
- オガ粉 (畜舎敷料など)



# 研究の方法①

## 1 早生樹苗木の安定確保

- 育苗試験(樹種別)
- 優良系統の選抜



## 2 地域に合う樹種選定

- 植栽実証試験
- 芽かき効果(通直材生産)





## 研究の背景・課題②

- 近年、竹林伐採跡地などの広葉樹植栽が進む  
(主な樹種)クヌギ・コナラ・ヤマザクラ・クリ・ケヤキ
- 明確な広葉樹育林技術体系がない  
⇒ 材価を高める適切な施業管理がなされていない

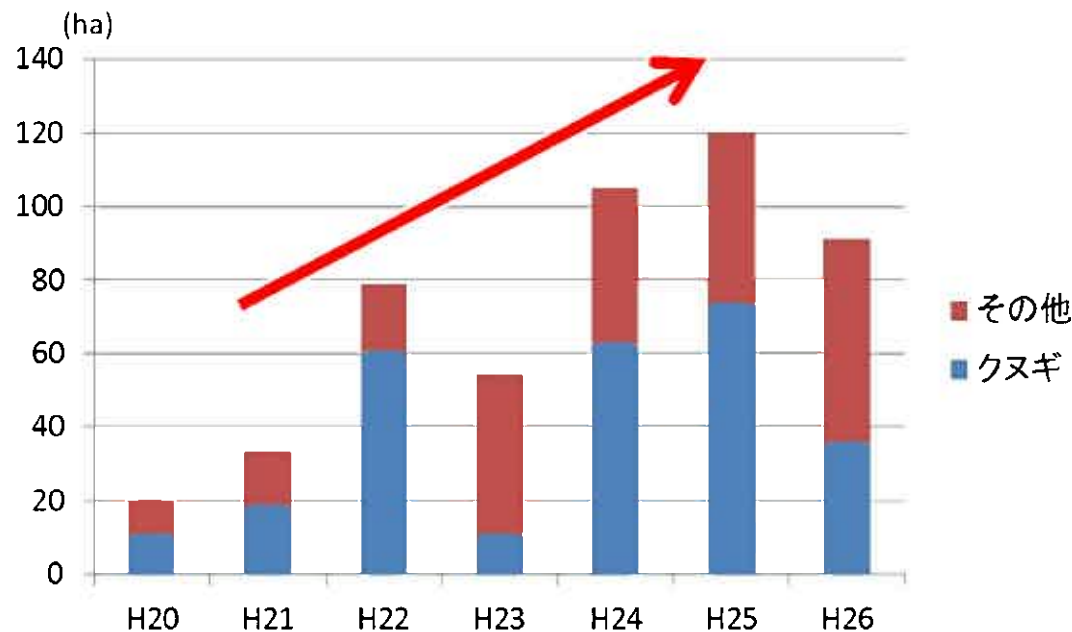


図 広葉樹植栽面積の推移(鳥取県)

## ■現場は試行錯誤の状態

⇒早急に育林技術体系を確立する必要



<問題点>:除伐が不十分



<問題点>:幹の曲がり・分岐

## 研究の方法②

### 有用広葉樹（クヌギ・コナラ・ヤマザクラなど）

- (1) 既存植栽地における生育状況調査
  - ・植栽密度（単一樹種・混交）、
  - 混交植栽地における樹種別の成長比較
- (2) 育林技術試験
  - ・芽かき効果、枝打ち効果、間伐効果



